

国土強靱化地域計画(最終案)のとりまとめについて

1 パブリック・コメントの実施結果

(1) 募集期間 平成27年12月21日(月)～平成28年1月20日(水)

(2) 意見提出 21件(1名)の意見があり、その内容は以下のとおり

内 容	件数
<想定するリスクに関するもの> ・想定するリスクに原子力災害を追加	1件
<脆弱性評価に関するもの> ・計画中の施設に関する脆弱性評価の実施、現状値に加え目標値の記載	2件
<施策の推進方針、重要業績評価指標に関するもの> ・電力の安定供給として家庭用発電等県有の水力発電以外の取組の追加 等	7件
<取組の重点化に関するもの> ・K P I から重点項目を選定・設定、重点的取組の優先順位づけ	2件
<計画の着実な推進に関するもの> ・把握・検証を行う主体の明記、計画期間中におけるK P I の見直し・改善	2件
<その他> ・専門用語の説明、西暦の併記、パブリック・コメント制度に関するもの 等	7件

2 素案からの主な変更点(※詳細は裏面のとおり)

(1) パブリック・コメントを踏まえた修正等

ア 推進方針

- ・「産業・エネルギー分野」において、電力の安定供給体制の確保として、「再生可能エネルギーの導入促進」を追加し、関連する重要業績評価指標として「再生可能エネルギーの発電出力」を追加
- ・計画の推進体制・進行管理について、推進会議の役割やP D C Aサイクル図を詳細に記載

イ わかりやすい記載

- ・資料編に専門的な用語解説を添付
- ・元号のみではわかりにくい部分について、西暦を併記

(2) 各部局における内容精査に伴う見直し等

- ・「国土保全・土地利用分野」において、水防法の改正を踏まえ、「最大クラスの洪水に対応したハザードマップの整備」を具体的に記載
- ・重要業績評価指標の現状値の時点修正

3 計画の策定・公表

- 2月4日(木) 第4回推進会議を開催し、別添のとおり計画(最終案)を取りまとめ
- 2月9日(火) 第3回専門部会を開催し、計画(最終案)について意見を聴取
- 2月県議会 総務企画委員会に説明、3月末に策定・公表
- 平成28年度 山口県防災会議において、計画の説明及び各機関の取組を促進

素案からの主な変更点の概要

1 推進方針等の追加

(1) 推進方針

○産業・エネルギー

素案	最終案
<p>電力の安定供給体制の確保 (電力の長期供給停止の防止) 略 (県有発電施設の老朽化・耐震化対策等の推進) 略</p>	<p>P 2 2</p> <p>電力の安定供給体制の確保 (電力の長期供給停止の防止) 略 (県有発電施設の老朽化・耐震化対策等の推進) 略 <u>(再生可能エネルギーの導入促進)</u> <u>○ エネルギー供給源の多様化のため、太陽光や太陽熱、森林バイオマス、小水力など、本県の地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入を促進する。</u></p>
<p>(理由)パブリック・コメントの意見を参考に、エネルギーの多様化の観点から、家庭や事業所等における再生可能エネルギーの導入促進を追加。</p>	

○国土保全・土地利用

素案	最終案
<p>洪水対策の推進 (洪水ハザードマップの追加整備) ○ 頻発・激甚化する水害に備え、河川の監視体制の強化や住民等へ提供する防災情報の充実を図るため、近年の豪雨災害や市町の要望等を踏まえ、水防警報河川を追加指定し、水位観測局の新設や洪水ハザードマップの作成支援等を進める。</p>	<p>P 2 9</p> <p>洪水対策の推進 <u>(洪水ハザードマップの整備)</u> ○ 頻発・激甚化する水害に備え、河川の監視体制の強化や住民等へ提供する防災情報の充実を図るため、近年の豪雨災害や市町の要望等を踏まえ、水防警報河川を追加指定し、水位観測局の新設や洪水ハザードマップの作成支援等を進める。 <u>○ 計画を上回る洪水が発生した場合でも、人命を守り、社会経済の壊滅的な被害をできる限り軽減するため、最悪の事態を想定し、最大クラスの洪水を対象とした浸水想定区域の公表や洪水ハザードマップの作成支援を進める。</u></p>
<p>(理由)改正水防法施行に伴い、想定最大規模降雨を前提とした浸水想定区域の指定が義務付けられ、県では、来年度以降、浸水想定区域の指定と、市町へのハザードマップ作成の働きかけを行うため。</p>	

(2) 重要業績評価指標

○産業・エネルギー

素案	最終案
—	P 3 4 34 再生可能エネルギーの発電出力 712,125kW(H26)→1,000,000kW(H31)
(理由)推進方針に「再生可能エネルギーの導入促進」の追加に伴い、定量的に評価する指標を設定したため。	

(3) 計画の着実な推進

素案	最終案
毎年度、重要業績評価指標（K P I）の達成状況や、数値では測れない定性的な取組状況も含め、施策の進捗状況等を把握し、検証を行った上で、必要に応じて「山口県防災会議」の意見等を踏まえ、見直し、改善を行うなど、P D C Aサイクルにより計画の進行管理を進めます。	P 3 8 毎年度、重要業績評価指標（K P I）の達成状況や、数値では測れない定性的な取組状況も含め、施策の進捗状況等を、 <u>各部局で構成する「山口県国土強靱化地域計画推進会議」</u> において把握し、検証を行った上で、「山口県防災会議」の意見等を踏まえ、必要に応じて、見直し、改善を行うなど、P D C Aサイクルにより計画の進行管理を進めます。
(理由)パブリック・コメントの意見を踏まえ、計画の進行管理について、よりわかりやすく記載。	

2 重要業績評価指標の現状値の時点修正（P 3 3～3 5）

現状値を最新値に修正（1 5 指標）

3 その他

(1) 用語解説の添付（P 1 0 0～1 0 3）

パブリック・コメントの意見を踏まえ、専門的な用語などを解説

(2) 西暦の併記

「平成7 2年」など、元号のみではわかりにくい部分について、西暦を併記

(3) 構成・レイアウト

内容がより理解しやすくなるよう、写真、イラスト等を追加